

vol.12 ゴルフ倶楽部 東弁ゴルフのハードル

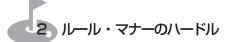
東京弁護士会ゴルフ倶楽部 幹事 渡辺 彰敏 (44期)



第327回例会集合写真

▶1 腕前のハードル

どうやら弁護士会では「東弁ゴルフに出るのは、ラ ウンド90を切ってから」という都市伝説(?)が今も 生きているようです。確かに10年以上の昔にはそんな 時代もあったようですが、第1回(LIBRA2019年3月 号) で松尾代表幹事も書かれているように、今ではそ のようなハードルは存在していません。例会で100以 上のスコアを出すことなんかいくらでもありますが、あ くまでも親睦優先でありスコアは二の次です。それに 例会は通常「東弁ゴルフハンディキャップ」を用いた アンダーハンデ方式で行われますので、ハンディキャッ プをたくさん持っている方が100以上叩いて上位入賞 などということも珍しくはなく、かえってローハンデの 方の入賞の方が難しくなっているのが現実です。



マナーとして最も重要なのは「スロープレーの防止」 です。よくハーフ2時間以内とか申しますが、そんなの は前後の状況で変わってしまいますので、大切なのは 「前を空けない、後ろを待たせない」ということです。 この「スロープレーの防止」と並んで重要なのは「一 日楽しく過ごす | こと。競技形式をとってはいても、 あくまでも親睦優先です。その他はドレスコードの遵守, ディボット・ピッチマークの修復およびバンカー均しは, 原則自分でやることぐらいですかねぇ。

東弁ゴルフの例会は、いわゆる「名門クラブ」でク ラブメンバーのご紹介で開催させていただいていること から、こうしたマナーが守られていないと、紹介してく ださったクラブメンバーに恥をかかせることになるのみ ならず、場合によっては次年度以降の利用を断られる

ことにもなりかねませんので、この点からもこれらマナ -の遵守が重要になります。

ルール的には、例会は競技方式で行われます。その 中で、ルール上の救済の受け方やニアレストポイント の決め方、正しいドロップのやり方といったルールは、 例会でプレーをしながら先輩に教えてもらうと、将来 的にクラブ競技やオープンコンペに出るときに大変役 に立ちます。



特に勤務弁護士の方には、これが最も高いハードル になりそうです。例会を行うクラブでは、通常、土日 祝日にメンバー以外のコンペをとることが難しく, 例 会は平日に行われることになるからです。このハードル は、ゴルフ上達によるクライアントの信頼獲得や会派・ 修習期・弁護士会を超えての親睦が、長い目で見て 大きなメリットもたらすものであることをボス弁に理解 してもらうことで、乗り越えるしかないようにも思われ ます。



以上、若干のハードルはあるものの、それを乗り越 えた先には大きな喜びと満足が待っています。多くの 仲間が東弁ゴルフに参加してくださることを期待して います。

東京弁護士会ゴルフ倶楽部 問い合わせ先 省略